

平成11年12月16日
原子力安全対策課
(11-134)
<14時資料配付>

新型転換炉ふげん発電所の発電再開について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、定格出力運転中の平成11年12月15日14時57分、落雷により送電系統（敦賀線）が一時的に停電し、送電ができなくなったことから、「蒸気加減弁急閉」の信号が発信し、原子炉が自動停止した。

停止後、非常用ディーゼル発電機は正常に自動起動するとともに、送電系統も復旧したことから、必要な所内電源は確保された。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はない。

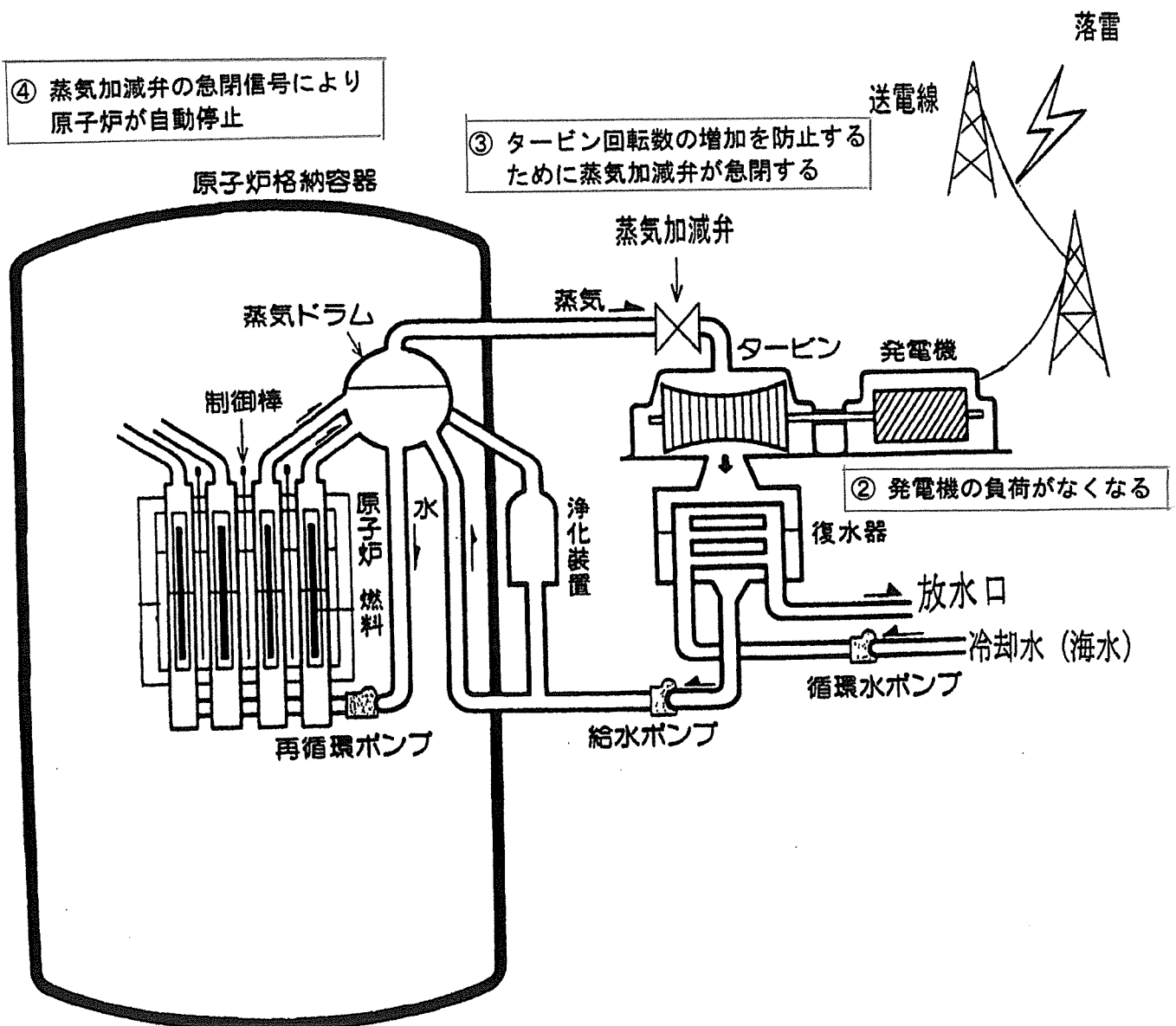
[平成11年12月15日資料配付済]

原子炉停止後、発電所の各設備・機器について点検を行い、異常がないことが確認されたため、本日18時頃に原子炉を起動し、翌17日昼頃に発電を再開する予定である。

④ 蒸気加減弁の急閉信号により
原子炉が自動停止

③ タービン回転数の増加を防止する
ために蒸気加減弁が急閉する

① 落雷により送電線が
停電状態になる



ふげん概要図